

## このニュースレターの主な掲載情報:

- グローバルな政治・経済、マーケットの最新情報や分析見通し
- BFSのサービス、実際のトピックス、ケーススタディ
- 資産運用や人生設計に役立つ情報
- 知っておくと得するホットな情報

## 日本の株式市場はどうしたら浮上できるか？

東証株価指数は、6月4日、バブル後安値を更新しました。ユーロ危機とか米国株式市場の軟調が大きく影響しているという見方が多いですが、そのような見方は、日本の株式市場の根本的弱さの原因を見落としてしまうこととなります。

日本の株式市場は自律的な株価形成ができてなく、米国の動き次第でその日の上げ下げが決まり「朝のオープニングだけ見れば、あとは見ている時間の無駄」といってもいいような展開です。これでは、株式市場の値動きのダイナミズムを感じることはできません。

私どもでは、日本企業の競争力が落ちた背景には、ビジネス以外にも大きな問題があると考えています。

企業の所有者は株主ですが、その保有目的が、会社相互の安定株主作り、お互いの株主総会の議決に同意する持たれ合いの仕組みを作るための方策でしたら、株主の監視機能が働かず、経営者は利益を株主に還元しないで抱え込む、無駄な投資にあてる、自分たちの取り分を多くするというようなことが可能になります。取締役会も社内取締役や社外取締役でも取引や資本関係で関係が近い人物を置いたりすると、株主の利益を代表する取締役会は形骸化します。

まさにこのようなことが、長年にわたり悪しき慣習として日本で続いてきたために、グローバルな競争力が落ちてきたといえるのです。

世界の経済は急速にグローバル化し、株式市場を含む資本主義システムは、グローバルに共通の土壌に立っている中で、日本は株主監視機能が働かず、特殊な環境でガラパゴス化しているといえるでしょう。これまで国内経済に依存でき、日本の技術力が優れていて外国に製品が売れていた時代はよかったです。新興国とも技術が拮抗するようになると、やはり会社が本来どこを向いて経営すべきかという原点に立たないと、グローバルな競争に勝てないのです。その意味で、日本企業は、本来の株主資本主義を早急に取り入れるべきです。

本来の株主すなわちその会社のビジネスや経営を評価して投資する投資家を向いた経営が必要です。一刻も早く、経営者は株主に対する見方を本来の正しい株主資本主義に変える英断が求められます。また、コーポレートガバナンス(取締役会の構成)も純粋に一般株主の利益を体現する取締役が過半の構成にする必要があります。



このような改革がなされてこそ、日本の株式市場はリセットし、再び浮上して行くのです。

## メルマガ200号を迎えて

おかげさまで、私どもが発行している週刊メルマガ『毎週3分で、資産運用の成功へ導くメルマガ!』は、今週、200号に到達しました。2008年6月に発行以来、読者の皆さまからわかりやすく、実行しやすいと大変好評をいただいています。これからも、皆さまの投資運用にすぐ役に立つ情報を、メルマガでもお話ししていきたいと願っています。まだ弊社メルマガを購読されていない方は、お気軽にご連絡ください。

このメルマガは、読者の皆さんにとって次のような大きなメリットがあります。

1. 私ども、びとうファイナンシャルサービスは、金融機関から完全独立し、金融商品や投資信託の手数料を収入にしないので、真に役立つ情報をお知らせすることができます。
2. 私、尾藤は、21年間も営業が厳しい証券会社にいたので、証券会社の営業姿勢やその実態がよくわかっていて、注意すべき点を詳しくお話できます。
3. グローバルな証券アナリスト資格、CFAIに裏打ちされた幅広く最先端の知識や情報を提供できます。
4. 34年の長い証券市場での経験がものをいい、1970年代、80年代の長期の上昇相場、高金利の時代を経験していることは、お客様へのアドバイスでも大きな違いになります。
5. 長期投資、国際分散投資、あるいは着実に成長する割安株投資など、あるべき投資の姿を紹介でき、読者の皆さんの資産運用に大きく役立ちます。

これからも、私どもの「毎週3分で、資産運用の成功へ導くメルマガ!」は決して短期の見方はせず、本来の投資の王道を歩みます。どうぞご期待ください!

## 今月の言葉:

私の人生は、精神的にも、社会的にも、今生きている人も死んでしまった人も含めた仲間たちの努力の上に成り立っており、私が受け取ったものに報いるためにどれほど真剣に取り組まなければならないかということを一日に何度も考えさせられる。

—アインシュタイン

弊社から皆様への情報提供ソース:

びとろファイナンシャルサービス公式ホームページ

<http://www.bfsc.jp>



毎週3分で、資産運用の成功へ導くメルマガ!

申し込みは <http://www.bfsc.jp/mailmagazine/>

書評ブログ-平日毎日更新

<http://blog.goo.ne.jp/dreamct-1>

Web サイトもご覧ください  
<http://www.bfsc.jp>

発行者 びとろファイナンシャルサービス株式会社(BFS)

代表取締役 尾藤 峰男

〒105-0022

東京都港区海岸1-2-20 汐留ビルディング3階

電話 : 03-6721-8386

携帯 : 090-4934-3121

FAX: 050-3156-1072

電子メール : [info@bfsc.jp](mailto:info@bfsc.jp)

お客様の人生に豊かさを、心に安心とゆとりを  
-びとろファイナンシャルサービスの大切な役割

## フェイスブック(Facebook)上場狂騒曲

世界で9億人が利用する最大の交流サイト、フェイスブックは創業8年で上場を果たし、時価総額1040億ドルの企業が誕生しました。あまりの人気に公開価格帯を上げ、公開株数も25%増額し、公開価格は上限の38ドルとなりました。ところが公開日の5月18日、ナスダック取引所の発注システムにトラブルが発生し、取引開始が30分遅れ、さらに2時間半も注文の執行に混乱が続き、取引が成約したのかどうかもわからず、マーケット・メーカーは暗闇の中だったそうです。このナスダックの不始末が、フェイスブックの上場初日の成否に大きな影響を与えたといっただよいでしょう。

ニューヨーク証券取引所は、早くもフェイスブックにニューヨーク取引所への上場を勧めているそうです。フェイスブックも真剣に検討中との事です。

フェイスブックは、公開価格38ドル、上場初値42.05ドルに対し、初日はかろうじて38ドルを上回って引けましたが、上場2日後早くも30.94ドルまで急落し、6月5日は25.87ドルまで落ちました。公開株を買えない日本の投資家が、上場初値42.05ドルで買っていたとすると、すでに38%も下がったこととなります。今の時点では、あれだけ期待されたフェイスブックの上場は、大変な大失敗という評価にならざるを得ません。

一方、公平な情報のディスクロージャーでも問題が指摘されています。主幹事のモルガン・スタンレーやJPモルガン、ゴールドマン・サックスがフェイスブックの収入見通しを下方修正し、その情報を限られた大口顧客にのみ提供したのではということが問題になっているのです。リテールの顧客はつんぼ状態においておかれ、情報の公平な伝達の面で、著しく不利な取扱いを受けたとなると、今後の成行は注目されます。

上場時のような、市場がもっとも熱狂(ユーフォリア)に陥るときこそ、冷静に慎重に事態を見極めること、そして引くべき時には冷静に引くことが大事です。これは、マーケットでいつの時点においてもいえることで、「マーケットが熱狂に踊っている時に恐れて引き(売り)、マーケットが悲嘆に暮れている時に勇気を持って買う。」という言葉が輝きを増してきます。

わたくしども、びとろファイナンシャルサービスは、フェイスブックの上場時のお客様への推奨を慎重に検討しましたが、上場時点でのお勧めは一切しませんでした。一方で、今後の株価動向は注意深く見ておく必要はあるでしょう。投資に値する適切な株価になったら、将来性を考えると検討の価値はあるでしょう。



## 第16回『退職金や金融資産をしっかりと運用するためのセミナー』を開催します！

—こうすればセカンドライフを豊かに過ごすことができる—

大切な資産運用で、本当のことを知るのはいへんむずかしくなっています。いい情報も危ない情報もあふれ、手数料収入を何とか取り込もうとしてリスクの高い金融商品売り込む金融機関や証券会社、FX会社、商品先物会社の営業活動はますます激しくなっています。思わぬリスクの高い商品を勧められ、取り返しの付かない損を被ることも珍しくありません。

日本の将来が不透明感を強める中、国の制度や周囲に頼ることはできません。自分でしっかり判断して、人生を切り開いていく必要があります。資産運用もまさにその通り。このセミナーで、他では絶対に聞けない、人生を安心して過ごせる「正しい資産運用法」をぜひ学んでください。きっとかけがいのない時間となることでしょう。

30年以上の経験と資産運用で頂点のグローバル資格を持つ、金融機関から完全独立のFP・資産運用アドバイザー尾藤峰男だから語れる「セカンドライフを豊かに過ごすための資産運用法」をお話します！

◆ このセミナーで「セカンドライフを豊かに過ごすための資産運用法」がわかる！ ◆

～参加無料 限定10名～

日時：2012年6月16日(土) 15:00～17:00

場所：TKP東京駅丸の内会議室ミーティングルームC(日比谷帝劇ビル地下1階)

<http://tkpteigeki.net/access/index.shtml>

(最寄り駅：有楽町・日比谷駅)

申し込みは、下記メールまたは電話にて「6月16日セミナー参加希望」として、お名前とご連絡先をお知らせください。

E-メール： [info@bfsc.jp](mailto:info@bfsc.jp)

Tel: 03-6721-8386



講師：尾藤 峰男 びとうファイナンシャルサービス代表取締役

プロフィール：

米国CFA協会認定証券アナリスト、CFPR、日本証券アナリスト協会検定会員、1級FP技能士、金融機関から完全独立のFP・資産運用アドバイザーとして、個人の金融資産や退職金の運用助言・ライフプランニングサービスを提供する。2000年当社設立。グローバルな投資理論や外国株投資・国際分散投資への造詣が深い。日本経済新聞、週刊東洋経済、日経マネーなどへのコメント多数。日経CNBCにもたびたび出演。著書に「いまこそ始めよう 外国株投資入門」日本経済新聞出版社。投資助言・代理業として関東財務局登録。